

杜のあし対からの報告

街内移動便の試行運行のご利用の案内

すでにご案内のとおり、昨年12月から「美奈宜の杜 街内移動便」の試行運行を実施しています。主に1～3丁目にお住いで、買い物に不便を感じておられる方を中心にセンターで開かれる「美奈宜の市」「金曜日」に向けての送迎です。これは西ビルと住民ボランティアの協力で実施に至ったもので、今後この街の交通問題を考えるうえで重要な判断材料になるものと考えます。現在までに4回の試行運行を実施しましたが、実績はほんの僅かしかありません。あと2回、以下の通り実施いたします。案外手近で新鮮な野菜・おやつ等々求めることが出来ると思います。一度どんなものか使ってみて下さい。(杜のあし対実施検討チーム 前田)

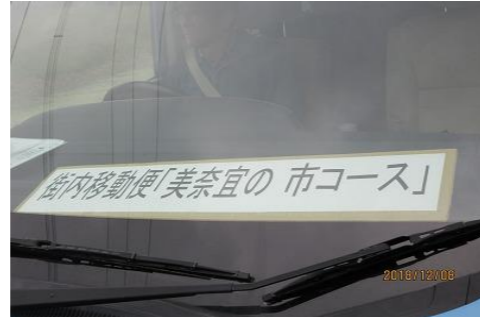
2月9日(土)【美奈宜の市コース】

(往路)2丁目バス停 → みなぎの湯 → センター(市会場)  
09:30発 09:35発 09:40着  
(復路)センター → みなぎの湯 → 2丁目バス停  
11:10発 11:15着 11:20着

2月15日(金)【金曜日コース】

(往路)2丁目バス停 → みなぎの湯 → センター(市会場)  
15:00発 15:05発 15:10着  
(復路)センター → みなぎの湯 → 2丁目バス停  
15:40発 15:45着 15:50着

お問い合わせ  
コミュニティー協議会事務局  
TEL 23-9008



★「草木処理場」の利用について

何度もお伝えし、多くの方々の関心が高い草木処理場の現状や今後の利用について報告します。昨年秋以降、西ビルと相談し5丁目、7丁目両捨て場の維持、使用方法について検討しています。最近も、皆さんから多くのご意見や要望が寄せられています。

○現状 5丁目:閉鎖されました。

7丁目:西ビルに鍵を借りて持ち込むことになりました。  
草と木の葉の処理に限り利用できます。

○5丁目に関する報告

5丁目は閉鎖後、土地の整理を業者に発注しましたが、産廃ゴミのようなものが多く、通常の土砂処理ができない状況とのこと。草や葉は土になってしまいましたが、コンクリー片、ビニール、プラスチック類、大きな木の幹などがそのまま堆積しているようです。

○7丁目に関する報告

12月に西ビルによって整理され、利用が再開されました。最近では、園芸の時期が一段落したためか、利用者は少ないようです。今後(4月を目途)の利用については、地区協議会で西ビルと相談しています。

○利用者への注意

区会宛てに寄せられましたいくつかのご意見の中には、「ゴミ捨て場」との表現がありました。この場所はゴミ捨て場ではありません。ご存知の通り、ゴミの処理は法律で厳しく規定されていますので、万が一ゴミを捨てたら警察によって取り締まられます。今後も利用が継続できるように、利用者の方々にはルール順守等のご協力をお願いします。

★住民活動費に関する検討会議からの報告

住民活動費に関する検討会議は、H29年5月から15回にわたる諸課題の調査と検討を重ねました。主要テーマの住民活動費(現在の区会のこと)の適正、使用法や、西ビルに支払う管理費との整合性、将来に備えた準備金など多岐にわたりましたが、ほぼ整理が終わりました。

検討会議は、今年度末(H31年3月)には皆様に、結論を報告、終了できる見通しがつきました。一部には、皆様の意志を確認して対処しなければならない事項がありますので、課題として報告したうえで、ご検討いただく場を持ちます。(議長福元)

★ニセ電話詐欺に注意してください！！

朝倉市内では、依然としてニセ電話詐欺の被害が発生しています。ニセ電話詐欺とは次のような手口ですが、引っかけられないように注意してください。

①架空請求書詐欺 ②オレオレ詐欺 ③還付金詐欺

怪しいと感じたり、変だと感じたら、ご家族や警察に相談してください。(区会役員会)



★住民懇談会を開催します 定例の住民懇談会のご案内。

2月10日(日) 第1街区(5丁目) 10:00～ 第2教室  
2月17日(日) 第2街区(6・7丁目) //  
2月24日(日) 第3街区(1・2・3丁目) //



主要議題は、区会からは区会改革に関する説明(役員選任方法の提案)・草木捨て場の利用に関する意見交換のほか、街区特有の課題の検討、新入居者のご紹介などです。コミュニティー協議会、社会福祉協議会も参加します。

★新しい住人のご紹介

○ 新入居 前原さん (定住)  
○ 新入居 宮内さん (定住)



編集後記-坂倉さんのご逝去に想う

1月19日早朝坂倉さんの訃報が届きました。この街の住民活動の中心的存在を失った喪失感は大きく、簡単に癒されないでしょうが、残していかれた精神や実績は、私たちに勇気づけるものです。この街を心から愛し、皆さんのためにどう活動するのか身をもって示してこられました。坂倉さんが作り、残されたものを、私たちはどのように引き継いで、将来に伝えていくのでしょうか。お別れの会は、今までにない形で、悲しくはありましたが心に残るものでした。この街を愛した方の思いの詰まった印象的なものでした。あるいは、これからは皆さんもこのようにやったらどうですか、と身をもって示されたように感じました。(福元記)